

科目	健康行動支援学特論	担当	牧野多恵子・大浦智子	講義形態	講義
				開講期間	後期
時間数:90分×15回(週1回)		キャンパス(名古屋)		単位数	2単位
【授業目標・到達目標】					
<p>本講義では、ヘルスプロモーションの理論について学ぶ。さらに実際のヘルスプロモーション活動の例を通じ、理論を臨床に適用するための技術について学習する。本講義を通じて、予防医学および健康心理学を中心としたヘルスプロモーションに関する理論と適用、およびヘルスプロモーション活動の実際について理解することを目的とする。</p>					
【履修注意】					
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、1・2限連続講義のため、15回を8日で行う。 ・講義内容および順序は変更する場合がある。 					
【評価方法】					
出席率およびレポートによって評価する。					
【教科書】					
特に定めない。					
【参考書・文献】					
特に定めない。講義の中で随時紹介する。					
【講義計画・内容】					
回数	講義 日数	項目(担当)	内容	遠隔	
1	①	健康・健康行動とは(牧野)	健康の定義、健康行動の基礎知識	○	
2		健康心理学の基礎理論①(牧野)	学習理論、発達理論、認知理論	○	
3	②	健康心理学の基礎理論②(牧野)	動機づけ理論、パーソナリティ、ストレス	○	
4		健康心理カウンセリング①(牧野)	健康心理カウンセリングとは	○	
5	③	健康心理カウンセリング②(牧野)	認知行動療法的アプローチ	○	
6		健康心理カウンセリング③(牧野)	ブリーフセラピー的アプローチ	○	
7	④	健康行動支援の理論①(牧野)	健康信念モデル、社会的認知理論	○	
8		社会と健康①(大浦)	個人・集団・地域から社会の健康へ	○	
9	⑤	健康行動支援の理論②(牧野)	トランスセオレティカルモデル	○	
10		社会と健康②(大浦)	情報リテラシー、情報をつたえる・つかう	○	
11	⑥	健康行動支援の理論③(牧野)	プリシード・プロシードモデル	○	
12		社会と健康③(大浦)	医療・介護におけるコミュニケーション:個人	○	
13	⑦	健康行動支援の実際①(牧野)	事例検討1	○	
14		社会と健康④(大浦)	医療・介護におけるコミュニケーション:社会	○	
15	⑧	健康行動支援の実際②(牧野)	事例検討2	○	